

# 潮風あびて横須賀基地港内を体験航海！ 海上自衛隊横須賀基地見学を同行支援



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）は、8月17日（月）募集対象者11名が参加した、海上自衛隊横須賀基地見学を同行支援しました。これは、海上自衛隊横須賀地方総監部主催のイベントで、募集対象者に対して「基地見学」「護衛艦見学」「港内体験航海」等を通じて、海上自衛隊をPRするものです。

横須賀基地に到着した参加者は、当初基地見学を行い、引き続き、護衛艦「あまぎり」を見学しました。同艦乗組員から艦橋、甲板等を案内され、「あまぎり」の任務や同艦の特徴、装備火器及び搭載可能なヘリコプター等の説明を受けました。

続いて、大型艦艇の入港を支援する小型船「曳船12号」に乗船し、港内の体験航海が行われました。



参加者は、オレンジ色の救命胴衣を身に着け、猛暑の中でしたが涼しく感じる潮風を受けながら港湾内をクルージングし、停泊中の自衛艦の威容に感激していました。また、イージス艦や砕氷艦「しらせ」の横を通過した際には、その大きさに歓声を上げてカメラに収めるなど、体験航海を堪能していました。

参加者からは「海上自衛隊の艦艇に初めて乗ることができ、とても感動しました。試験に合格して、護衛艦乗組員を目指します！」などの感想が聞かれました。

新潟地本は、海上自衛隊と連携し、今後も基地見学及び艦艇公開を通じて海上自衛隊の魅力を発信し、志願者の獲得に繋げていきます。